

学校教育目標	≪ふれあう ためす つくりだす やべっ子 きらきら かがやこう≫ → つながる、チャレンジする、新しい自分を創り出す。 ◎めざす子どもの姿【友達が好き、先生が好き。そして学校が好き、自分が好き】 友達や先生とつながりあいながら、様々なことにチャレンジすることを通して、新しいより良い自分を創り出す。 ○主体的な学びを大切に、より良い自分を創ろうとする子を育てます。(知) ○自他の価値を尊重し、人を思いやる優しさのある子を育てます。(徳) ○命と体を大切に、進んで体力づくりや生活改善に取り組んでいこうとする子を育てます。(体) ○地域とのつながりを大切に、より良い地域社会のために積極的にかかわる子を育てます。(公)公共心と社会参画 ○視野を広げながら、互いに認め合える学校や社会を創り出そうとする子を育てます。(開)未来に開く志			
	創立 52 周年 児童生徒数: 693 人	学校長 山口 恭史 主な関係校: 戸塚中学校	副校長 和田 晋治	2 学期制 一般学級: 22 個別支援学級: 4

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	戸塚中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○主体性、自立心 「伝え合い、高め合う」前提となる、自分で考え決定し行動する力を培う。 ○コミュニケーション力、協調性 ○責任を果たそうとする力 「相手を思いやり、共に生きていく」前提となる、協調しようとする気持ちやコミュニケーション力、責任を果たそうとする気持ちを培う。 ⇒自己有用感、自己肯定感の醸成	戸塚中学校 矢部小学校 戸塚小学校 東汲沢小学校	自ら学び 人の関わりを通して 自分らしく 心豊かに 生きていく子 ・小中授業研究会や児童生徒交流、地域交流、あいさつ運動等を通して、戸塚中ブロックで育てたい資質・能力を明確にして教育活動を展開する。 (戸塚中学校ブロックで育てたい資質・能力) ○伝え合い、高め合う力 ○相手を思いやり、共に生きていく力 ○自己有用感、自己肯定感

中期取組目標	【人とのつながりを大切にしながら、安全・人権・学習を軸にした、安心して学べる学校にします】 ○子どもたちに身につけさせたい資質・能力を明確にした、意図的・計画的な教育活動を推進します。 ○子どもたちの現状を把握し、3つのプロジェクトで取組を進め、子どもたちの成長を育みます。 ○授業研究を通して、子どもたちの成長を育むとともに、教員の授業力向上を図ります。 令和4年度研究主題 「ふれあう ためす つくりだす やべっ子」の実現に向けて ～確かな言語能力を身に付け、自分の言葉で表現できる子の育成～
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 学力向上プロジェクト	①日々の実践を積み重ね、確かな言語能力を育てる。②相手意識・目的意識を明確にし、思いを伝える場面を意図的に設定した単元計画を立て、子どもが自ら自分の言葉で表現する力を育てる。③授業研究や日々の研修を通して、教員の授業力向上をはかる。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 心の育成プロジェクト	①挨拶の励行・歩き方指導・後片付け指導を日常的に行い、この「三つの'あ'」の生活ルールの定着を図り、自律的で温かな子どもたちに育てる。②学校行事・BWHの取り組み・たてわり活動など体験活動の充実を図り、お互いを認め合う心を育て、安心感や自己有用感の醸成を図る。
<b>体</b> 健やかな体 担当 体力向上プロジェクト	①体育科学習の充実に努め、運動量のある授業づくりを進めるとともに、外遊びや体力づくりを推奨し、ユースタイムを利用した全校運動や体育委員会の取り組みを定期的実施することで、体力の向上を目指す。②保健委員会の活動や給食委員会の食育の推進により、健康づくりや健康管理の指導を充実させる。
<b>公開</b> 地域学校協働活動 担当 教務部 各担当	①地域学校協働活動本部および学校運営協議会と協同し、地域と連携して豊かな教育活動の推進を図る。②谷矢部池公園の清掃・地域行事や地域施設、地域防災訓練への児童の参加を活発化させ、地域の一員として役立とうとする心情を育てる。
<b>いじめへの対応</b> 担当 学校いじめ防止対策委員会	①児童に寄り添った指導と児童理解に努めるとともに、保護者とのコミュニケーションを密にするよう心掛ける。②児童の気になる言動について、学年内で絶えず情報共有を図り、専任・管理職へ報告連絡相談し、共通認識に立って、迅速に組織的な支援体制をとる。
<b>人材育成・組織運営(働き方)</b> 担当 教務部・メンターチーム	①5年以下の教員を中心にメンターチームを組織し、情報交換をしたり、ミドルリーダーが講師となって研修を行ったりする会を月1回開く。②主幹会を適切な時期に設定し、ミドルリーダーが主体的に学校経営に目を向け、学校運営に取り組む意識を高める。③教育の質の向上や教員の負担軽減のために働き方改革を進める。
<b>環境教育</b> 担当 教務部 各担当	①きずな・わかぎ等のボランティアと連携し、谷矢部池公園での学習を充実させ、自然を大切にしようとする心情を育てる。②身近な自然に親しむことを通して、身近な環境から広い視野の環境問題まで、広く環境を意識できる機会となるようにする。
<b>児童生徒指導</b> 担当 児童指導部	①全職員で児童の状況把握をしっかりと行い、児童支援専任が中心となって、効率的な情報共有をもとにした適切な支援につなげられるようにする。②チーム学年経営として、学年内で交換授業を計画的に行い、組織として児童の支援を行えるようにする。
<b>a14</b> 担当	a24
<b>a15</b> 担当	a25